

## 第5回 グループワーク意見一覧

グループワークで貼り出した付箋の意見をまとめたものです。

会議名：区立施設マネジメント計画に基づくワークショップ  
～浜田山駅周辺の老朽化した区立施設への対応等に関する検討（第5回）～

開催日時：令和6年9月6日（金）午後6時～午後8時40分

場 所：浜田山会館 ホール

出席者：区民19名、区職員18名

### 第5回（9月6日）グループワーク①結果

（テーマ）ワークショッププランや主な意見の内容について意見交換

班	参加者が付箋に書いた意見	意見交換中に職員が追加した付箋
<b>プラン①</b>		
1班		今の保育園の場所にケア24が移転した場合、わかりづらく、道が狭い。また、下高井戸に住んでいる人が遠くになってしまう。
1班		ケア24は生活に直結するため、わかりやすい場所にあることが大事。
1班		ケア24が移転した場合、上高井戸3丁目に住んでいる人は来ることができるのか。
3班	高齢者人口は増えているが、それがゆうゆう館の利用者数に反映しているのか。	
3班	「多世代交流」と言っているが、イベントを実施することがどれくらい交流につながるのか。	
5班	ケア24が保育園と併設となる場合、駐車場などのスペースを確保することができるのか。	
<b>プラン②</b>		
1班		保育園の仮設を集会施設に転用することはできないのか。壊すのはもったいない。
1班		集会施設を使って、ケア24を認知できるというメリットがあるのではないか。
3班	利用者の駐輪場。	
3班	C地点は児童の遊び場。ただし、近隣からの騒音が課題。	
3班	多世代が同一施設を使うだけでは、多世代交流にはつながらない。多世代と一緒に活動するのは、イベントくらいしかないということなのか。	
4班	C地点は、病児保育など将来必要になることに活用してほしい。	検討まとめでは、具体的な例示をしてほしい。
5班		コストが最もかかるが、財政的には大丈夫なのか。
<b>プラン③</b>		
1班		園庭が狭くなったり、エレベーターを2つ設置することはもったいない。
5班	ゆうゆう館の夜間利用に工夫が必要。	
5班		今ある場所に残してほしいという意見が多い。
5班		保育園とゆうゆう館の交流があるのであれば、併設が良い。
5班		ゆうゆう館ができるまでの期間が短い。
<b>3つのプラン共通/その他</b>		
1班		区立園は障害児対応などを担うことが重要であり、そういった重要性をしっかりと伝える必要がある。
1班		園庭の広さは、たかが20㎡、されど20㎡。

班	参加者が付箋に書いた意見	意見交換中に職員が追加した付箋
2班		今の高齢者の意見はわかるが、次の世代の高齢者の意見はどうか。未来を見据えて考えると、また考えた方が変わるのではないかな。
2班		ケア24は今の場所にある方が、利用者にとって安全である。将来的に園庭側から入ることができるのであれば、保育園に併設することも良いのではないかな。
2班		ゆうゆう館を有料にしても良いのではないかな。
2班		C地点の土地は、売却してしまって、建設費用に充当したり、ゆっくり次の活用方法を考えることが良いのではないかな。
2班		C地点の活用方法として、30～40代向けのワーキングスペースとかも良いのではないかな。
2班		C地点は防災水槽があるので、更地にすれば有事の際にも対応できるのではないかな。
2班		コミュニティふらっとのビジョン、何がしたいのかがわかりづらい。
2班		コミュニティふらっとは、建物に統一感がないためポリシーのようなものがわからない。
2班		ケア24は今の場所にあった方が良いという意見が多い。
3班	どのプランも「絶対良い」というものではなく、どの事業を重視するかによって、プランが決まってくる。	
3班	従来の施設利用者の意見は反映されるが、区として「どう使ってほしい」を重視したい。	
3班	優先順位が何なのか。 ①少子化対策 ②高齢者対策 ③若い人たちの懇談 ④ケア24の位置づけ	
3班	C地点の活用方法を「今決めるのか」「将来決めるのか」、どちらが長期最適か。	
3班	A地点について、「保育の充実」という視点が重要。	
3班	B地点は、ケア24を残すという意見・希望が多いのではないかな。	
3班	「集会所」を整備する際は、「利用者の利便性」「利用のしやすさ」に配慮してほしい。	
3班		コミュニティふらっととゆうゆう館、浜田山会館の違いは何か。多世代が使える施設を整備してほしい。
4班	ゆうゆう館やコミュニティふらっとは、ターゲットを明確にしてほしい。	区として、ニーズを調べた上でどうしてほしいのかを示してほしい。区の意図が大切。
4班		転用しやすい施設を整備してほしい。
4班	園庭の広さを考える時は、全体の広さと一人当たり面積を考える必要がある。	
4班		防災的な視点も大切だと思う。
4班		どのプランも一長一短ある。コスト面が重要。園庭や部屋の広さが狭くなることは、互いに寄り添うことが重要。
4班	プランの中で、資金計画がいまだに不明確。	元々の計画にかかる予定だった費用を示しながら、正確な費用を示してほしい。
4班		ゆうゆう館の各諸室の延床面積・定員と現在の各諸室の利用人数から、一人当たりの広さが足りるのか。資料上で単に狭くなると記載があっても、それで本当に良いか判断することができない。
5班		利用者の意見は厳しいため、全てを叶えることは難しい。
5班		子育ては大切。
5班		浜田山会館にホールは残してほしい。
5班		集会所の利用率を上げる工夫が必要。

第5回（9月6日）グループワーク②結果

（テーマ）プランの決定や今後の取組を進めるにあたって、区に大事にしてほしいこと、留意してほしいこと

班	区分	意見	理由
1-1	大事にしてほしいこと	①保育環境の充実を推し進めてほしい。ゆうゆう館利用者の意見として「同じ場所」を求める気持ちもわかるが、将来の日本を担う子どもたちのために、何年かは場所を移して（浜田山会館→コミュニティふらっと）いただくことをお願いしたい。 ②ケア24は重要であるため、認知度の高い浜田山会館に残すことが大切。	①住んでいて良かったと思える街は、様々な世代がお互い思いやりながら生活する街だと思う。そのためには、若い世代の人に浜田山を選んでもらう必要がある。 ②認知度の高く、下高井戸地区の方の負担を増やすことは良くないと考える。
1-2	大事にしてほしいこと	ケア24は介護保険制度の要の施設として重要である。今後、ますますその意義が大きくなるのが想定されるため、利用に当たっては、同じ地域に住む人々たちにとって、できる限り平等でありたい。	現在の場所でも、下高井戸4・5丁目、上高井戸3丁目はケア24浜田山が浜田山会館にあることは、高齢者にとって遠いと感じている。これ以上遠くなること（高井戸東保育園の場所になること）は、利用しづらくなると思う。
1-2	留意してほしいこと	ケア24浜田山の管轄地域の浜田山1・2・3丁目と高井戸東1・3丁目、下高井戸4・5丁目、上高井戸3丁目の人口はほぼ同じである。区境に住む人々の利用のことをもう少し考慮してほしい。	
1-3	大事にしてほしいこと	・ケア24を浜田山会館に残してほしい。 ・区立保育園の重要性を理解してほしい。	・ケア24浜田山の現在の場所は最適である。他に、行く場所が見つからない。 ・私立の保育園は、経営難になることや障害児の受け入れに渋ることがある。
1-3	留意してほしいこと	高齢者が元気でいることができるように、集まることができる場所を残してい欲しい。	若い人（中年含む）は、自力で遠くまで行くことができるが、年金生活者は、体力的にも、経済的にも制約がある。高齢者の健康寿命が延びることは他の世代にとってもありがたい。
2-1	大事にしてほしいこと	基本設計時に、区民のアドバイザーの参加を求める。	利用者目線の設計をしてほしい。
2-2	大事にしてほしいこと	「居心地」子どもたち、その親世代、高齢者等、その用途に合わせてくる人々にとって、居心地の良い環境、空間を創ること。	誰かに会えるから、そこしか集まるどころ、習うところがないから、子どもを託すところだからというだけではなく、無意味に目的がなくても何となく行きたくなる空間を創ってほしい。
2-2	留意してほしいこと	「杉並区」「浜田山」という地域のブランディングを真剣に考えて創造してほしい。	区の繁栄に繋がるような、地域性を考慮した施設。新しい施設の創造は、地域ブランディングの絶好のチャンス。多少尖っても良い。
2-3	大事にしてほしいこと	・親しみが湧き、利用したいと思える施設づくりを希望する。 ・保育園の仮園舎は、使用時期や安全面を考慮してほしい。	5年後、10年後に、現在と違う利用者層になっていると思うため。
2-3	留意してほしいこと	多世代が利用しやすいこと。	これからのシニアの生活スタイルはだいぶ変化するというため、講座やサークル活動の運営企画も大変だと思う。
2-4	大事にしてほしいこと	多世代が気軽に使える施設であってほしい。	先々のニーズの変化に対してフレキシブルに対応ができること。
2-4	留意してほしいこと	区の関連部署でニーズの吸い上げと、最適化をしてほしい。当初は、ケア24の話は全く出ていなかった。	今回の再編の進め方が施設が先にあったように思う。再編後の施設のビジョンが見えない状態が続いている（どういう杉並区あるいは浜田山地域にしたいのか）。
3-1	大事にしてほしいこと	・従来、施設の利用者の声を取り上げられやすいが、区として新施設は「こうして使ってほしい」という方針をはっきり示してほしい。 ・コストミニマム&地下室。	施設が移転した場合、利用者もいずれ変わってくる。また、ニーズも変化する可能性もある。いかなる案でも異論は出ると思われるため。
3-1	留意してほしいこと	・「区の施設」のPR：区民が知らないことによって、利用していないケースを減らす。利用率の向上を図る。 ・施設の看板（道路標識も含む）	・住宅街に埋もれている施設が多い。 ・看板＝施設名を知る＝用途も名称から認識してくれるようになる。
3-2	大事にしてほしいこと	・少子化対策、高齢者施策、若い人とのコンタクト、ケア24の位置づけのバランスをどうするのか。区のビジョンを示してほしい。 ・全体最適、長期最適がどのような前提なのかを示さないと「ことばのあそび」	要素のウエイト付けをしないと利害関係者に説明できない。関係者全員が満足する施策はない。
3-2	留意してほしいこと	・まず、区の方針をしっかりと示し、それに対して意見を求めてほしい。 ・将来の財政負担も踏まえたコストパフォーマンスを常に考えてほしい。	・みんなの意見を聴くだけでなく、区が区民を説得するくらいのスタンスが必要。 ・施設の問題だけでなく、これを担う人々をどのように育成していくのか、リーダーの育成も課題。
3-3	大事にしてほしいこと	1. 全体最適と長期最適を決めるためのビジョン（浜田山エリアの街づくりの視点） 2. コストパフォーマンスの観点 3. 利用者の立場に寄り添った運営（集会所施設等）	長く、住みやすい街であってほしいため。
3-3	留意してほしいこと	1. 将来の人口動態予測に当たっては、あまり悲観的にならずに。 2. 長く使える施設としてほしい。 3. 防災の観点を大事にしてほしい。	
3-4	大事にしてほしいこと	・集会所施設、コミュニティふらっと、浜田山会館、ゆうゆう館各館の定義、目的を明確にする。 ・高齢人口増加、少子化の2大ストリームに対して、地域で幸福に暮らせる老人、若い人、子どもをセットに活気ある街にしてほしい。	明確にすれば、全体最適、長期最適が自然と見えてくる。
3-4	留意してほしいこと	ファジーな部分があると良い。	そこに、多くの人の要望などが形をもって形成されるから。
3-5	大事にしてほしいこと	ビジョンを明確にしてプランを決めてほしい。ビジョンの案としては、子育て世代から高齢者まで、垣根なく交流することができ、移住したくなるような長く住みたくなるような街にしていくなど。	ビジョンがないと、少子高齢化だからといった事象に惑わされ、方向がぶれるから。迷ったら「魅力的な街を目指す」などに立ち返り、判断がぶれないようにしたいから。
3-5	留意してほしいこと	・利益を出すことも考える（使っていない時間帯の駐車場を貸し出すなど） ・既得権益に囚われないこと ・現行の施設の名称、機能にこだわらず、再定義から始めてほしい。ただし、決めることは変えないことではなく、フレキシブルに時の流れなどで見直して行ってほしい。	コミュニティふらっと、ゆうゆう館、浜田山会館と名称だけが空回りしているから。
4-1	大事にしてほしいこと	シンプルにそれぞれの施設の利用者が快適に利用できること。	利用者がまた利用したいと思える、居心地が良いなどは区の印象も良くなる。
4-1	留意してほしいこと	・現在の利用状況と未来の利用状況が同じではないことを踏まえて検討してほしい。 ・費用の使い方はしっかりと提示してほしい。 ・フレキシブルに対応できる建物を。	税金を使うことになるため。

班	区分	意見	理由
4-2	大事にしてほしいこと	・段階に応じた情報の公開（公開方法は工夫）。 ・資金、予算などを含めた判断の合理性を示す。	正しい情報を正しく伝え、正しく理解を得る必要がある。
4-2	留意してほしいこと	・既得権者に対する工夫や配慮。 ・やっていることを上手くアピールする。 ・予算がたくさんあることを自覚して、有用に活用してほしい。	区民に対する理解を得る。
4-3	大事にしてほしいこと	住民全ては平等であり、全ての人々が楽しむ、楽しむことができる権利があると思う。それを基本に、計画としてほしい。	年齢にかかわらず、障害のある方、精神的に不安な方、オープンな場には出ることが困難な方など、その全ての人々にも手が差し伸べられるような計画を望みたい。
4-3	留意してほしいこと	予算は税金であることを再度認識して、予算が少ないのが良いのではなく、有効な活用をしてほしい。	区民目線に立った、行政の施策の基準の一つは予算＝税金の使い方だと思うため。
4-4	大事にしてほしいこと	・地域にとって、必要とされる施設作りと使い勝手の良い施設作りを大事にしてほしい。 ・明るい施設作り（内観・外観）。	利用者の増加につながる。
4-4	留意してほしいこと	・全ての世代に受け入れられる施設作り。 ・施設作りとは別に、各事業で提供されるサービスが向上する取組をしてほしい。	
5-1	大事にしてほしいこと	何を第一にするのかを大事にしてほしい。 現在の施設利用者の意見を保ちながら、進めてほしい。 予算面でもどこまでかけることができるのか、未来へプラスになるのであれば、今出費しても良いのではないか。	高齢化が進む中で、今後のみんなが利用していきたい場所になってほしい。予算は高いと、未来に負の財産となるため。
5-1	留意してほしいこと	外側と内側の各々の充実を改めて考えて話し合っていく必要がある。	各世代が集うために、より良い杉並区になっていくために、「新旧」を融合させていかないと、満足感を分け合っていないと幸せに繋がらない。各々の世代が少しの我慢は必要かもしれない。
5-2	大事にしてほしいこと	・集会施設を画一的なものにするのではなく、個性を残してほしい。（浜田山会館のホールは貴重であるため、残してほしい） ・集会施設に関しては、その運営等の中身が重要。人々が集い、交流し、地域の繋がりがなることを大切にしてほしい。 ・どこにどの施設になっても、利用者の目線を大切にしてほしい。 ・どんな人（例えば、体に障害のある方や外国籍の方など）でも利用しやすい施設であったり、工夫してほしい。 ・新しい施設は災害時の時の活用なども併せて考えてほしい。	今回のワークショップの中で、「地域交流」や「多世代交流」を望む声を多く聞いた。アイデアシステムで、対応できることも多くあると思うため、単純に来て楽しい、来やすいなど利用しやすい場所になるべきだと思うため。
5-2	留意してほしいこと	・ゆうゆう館の夜間利用について、子ども居場所として検討してほしい。 ・児童館+様々な人が集える場所を、旧保育室浜田山東に作れたら良いと思う。子どもや人々の居場所、杉並モデル的な居場所にはできないか。	
5-3	大事にしてほしいこと	各施設の用途・目的に合致した計画にしてほしい。目的を明確に。	中途半端にならないようにする必要がある。経済的理由、行政の都合でそれぞれの良さが失われるべきではない。
5-3	留意してほしいこと	既存の立地が変わってしまうことへのネガティブな意見は配慮しすぎないでほしい。	場所が変わって不便になってしまう人はどうしても出てくるが、大事なのは各施設が目的・用途に合致していること。 「今の住民」ではなく、将来的な視点で考えてほしい。

第5回（9月6日）全体共有（車座）一覧

No.	内容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜田山の街が好き。</li> <li>・徒歩圏内でほとんどの用事が済む。また、まちで挨拶ができるような関係が良い。</li> <li>・自分たちでまちを良くする機会を与えてもらえて感謝している。今後もこういう場があると良い。</li> <li>・みなさんに会えて嬉しかった。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去、児童館やゆうゆう館の廃止の説明会に参加してきたが、文句を言う側という感じで、意見は言っても取り入れてもらえない、ガス抜きの場合、という印象であった。</li> <li>・ケア24の高井戸地域区民センター内への移転へ反対した。</li> <li>・色々な意見を聴きながら、自分が丸くなってきたと感じた。</li> <li>・こういう機会をもらえて感謝している。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下高井戸在住だが、浜田山は好きな街。</li> <li>・上高井戸3丁目、下高井戸4・5丁目もケア24浜田山の管轄。</li> <li>・ケア24の移転に関心があったが、保育園、ゆうゆう館には馴染みがなかった。</li> <li>・ケア24は、浜田山会館に残してほしい。</li> <li>・自分なりに考えを述べさせてもらった。</li> <li>・遠いところに住んでいる人の思いを伝えたいつもり。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道筋（区の方針）が決まっているので意見がどれくらい反映できるかわからないが意見が言えて良かった。</li> <li>・関わりのなかったゆうゆう館・コミュニティふらっとが知れて有意義だった。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は、自分の立ち位置で話していたが、全体最適の方に考え方が変わっていったのが良かった。</li> <li>・どうあるべきかを考えることができたのが良かった。</li> <li>・こういう機会がまたあったら良い。</li> <li>・若い世代がもう少しいると良い。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆうゆう館と保育園と関わりがなかったが、真剣に考えて、考えがブレたが、考えられたのが良かった。</li> <li>・次の世代がどのように使うのか考えられた時間は有意義だった。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・杉並区を俯瞰して見られたことに感謝している。</li> <li>・杉並区はブランディングがしやすい街である。</li> <li>・使用者の居心地は大切。</li> <li>・居心地+ブランディングで施設を作っていってもらえたら</li> </ul>
8	<p>最高齢82歳、ゆうゆう館に勤務していた。ずっと高井戸に住んでいる。戦争中は自宅近くに焼夷弾も落ちた。ゆうゆう高井戸東館利用者としてこのワークショップに参加している。</p> <p>今回のワークショップでは、現在のゆうゆう高井戸東館利用者の意見を丁寧に聞いているが、数年すれば利用者・メンバーも入れ替わる。区としてしっかりとした考え・方針に基づき、施設整備のプランを示した方が良い。コスト意識を持つことも重要である。</p> <p>既存施設利用者の意見ばかり聞くのではなく、これからの、将来の利用者の使い勝手を考え、しっかりプランを立てていかなければならないのではないかと。施設利用者も時代とともに代わっていく。施設整備にあたっては建物の地下の有効活用も考える必要があるのではないかと。</p> <p>区として区立施設全般に言えることだがPRが足りないのではないかと。特に若い世代への施設案内が不十分ではないかと。最寄り駅・バス停などからの施設への道路上の案内標識が足りない。</p> <p>各コミふら施設では多世代交流事業を実施しているが、年1回程度の実施ではあまり意味がないのではないかと。現状、多世代交流・混じり合いはあまり感じられない。</p>

9	<p>ワークショップ第1回目から申し出ているが、区のビジョンが見えない。</p> <p>施設を整備する場合は、この浜田山周辺の魅力を活かした建物にする必要がある。浜田山地域が魅力ある住みやすい街並みになれば、人も増える。少子化対策にもなる。</p> <p>共通認識がない。迷ったら立ち戻るよりどころの区としてのビジョンの提示がなかった。最初に基準が提示されないと議論が進まないのではないか。また各プランについて言えることだが整備コストの提示がおかしい。これではプラン間の比較が出来ない。</p> <p>ふるさと納税により、住民税が流出していると言われるが、嘆くばかりではなく、納税したくなる、人を引き付ける魅力ある杉並区にしていって欲しい。</p> <p>既得権益者の主張にばかり耳を傾けるのではなく、各施設の必要な機能を再定義し、時代とともに見直しができる施設整備を進めていって欲しい。見直しができることが大事である。</p>
10	<p>プラン①②③の比較の議論を重ねてきた。話は少し逸れるが、先日新聞に「気楽に話ができる」、「挨拶ができる」町は、自殺が少ないという主旨の記事が載っていた。</p> <p>今後、施設が「コミふら」になるにせよソフト面の運営がますます重要となってくる。</p> <p>今回のワークショップで「コミふら」「ゆうゆう館」「会館」の違いがはっきりしなかった。区としての将来に向けてのビジョンの提示がなかった。各施設の定義がはっきりしなかったから、ビジョンが出なかったのか。ビジョンが出れば、全体最適・長期最適の視点からより物事を考えることができる。</p> <p>定義はガチガチにしないで欲しい。ファジーな部分、曖昧・柔軟な部分もあった方がいい。</p> <p>今後、◎旧保育室浜田山東は、フリースペースとして人件費がかからない形で運営して欲しい。</p> <p>多世代と混じり会いたくない高齢者は「ゆうゆう館」を利用し、交流したい高齢者は「コミふら」を使えばいいのではないか。</p>
11	<p>今回のワークショップを通して、区のスタッフ対応が良かった。</p> <p>全体最適・長期最適の視点で高井戸・浜田山地域の人が本当に必要とする施設を計画していって欲しい。</p> <p>コストパフォーマンスを考えた上で、利用しやすい施設を建設して欲しい。</p> <p>将来の人口動態に対し、あまり悲観せず、20年・30年先を見据えて施設を整備していく必要がある。町の魅力を高めれば、人も集まってくる。いざという時の防災の観点も計画には反映していって欲しい。杉並のまちづくりは、三世代がいるまち、若い人が住みやすいまち、このまちで一つ屋根の下で暮らしていくイメージを持ち、策定していって欲しい。</p> <p>施設の間取りは変更が可能なものとしたり、利用機器の更新にも対応できるようにして欲しい。施設利用の手続きも簡単に行えるようにして欲しい。施設運営は、民間の知恵が活用できる運用としたほうがよい。</p>
12	<p>少子化対策、高齢者の居場所確保、「コミふら」化での若い人の活動支援、ケア24の地元での運営について、区としてのプライオリティー、何を大切にするのか、ウエイトづけを示すべきだ。区民が納得できるような案を区側が提示すべきだ。将来世代に負担をかけないように限られた財源を有効活用し、全体最適・長期最適の視点で取り組んでいって欲しい。</p> <p>12 区長の公約で2年間施設再編整備計画が凍結された。この2年間凍結した理由を聞きたい。</p> <p>今後、担い手、施設を作ってそれを運営するリーダーの育成が重要となってくる。</p> <p>施設を整備したら、次にその施設を使っていろいろと企画を組み立てるリーダーが必要となる。箱物だけではダメ、その施設を活かすソフト面が重要となる。</p> <p>今回のワークショップ資料の各施設の利用者の声は参考になった。</p>
13	<p>5回のワークショップに従事は勉強になった。</p> <p>13 各分野のサービス提供レベルが上がるとか、利用者層が増えるとか、そういった取組をしていくと、良い杉並になっていくと思う。</p>
14	<p>14 高齢者と保育を中心に、最初は考えていたけど、それ以外の人も楽しむ権利がある。</p> <p>そういった方にも、目をむけて取り組んでほしい。</p> <p>税金はみんなが幸せになるために、有効に使ってください。</p>
15	<p>15 5回のワークショップを通じて、他人事が自分事になった。</p> <p>利用者の意見を讀んだとき、自分が心配していたことは、利用者としてはそうではなかったりした発見もあった。</p>
16	<p>16 区の予算が潤沢だと思った。</p> <p>区民が60万人弱いる中で、区立施設を使っていない人がほとんどだと思う。</p> <p>使っていないけど、納税をしている人にも、わかりやすく合理性をもってやってほしい。</p> <p>出来上がったら施設の内覧会をやってほしい。</p> <p>杉並区は、対外的にうまくPRしてほしい。</p>

17	<p>自分と同じような属性の参加者はいなかったが、様々な方と意見交換することができた。</p> <p>これまで出した意見がどこまで反映されるかわからないが、適切に対応してほしい。</p> <p>街のシンボルや象徴があると地域の誇りになる。</p>
18	<p>何を優先すべきなのかわからなかったが、利用者の意見はシビアだと感じた。今後のことを考えると、どこかで譲り合う必要がある。</p> <p>特色を残しながら活性化すると良い。</p> <p>5班は、かっこいい施設や中身を充実させるという意見が多かった。気楽に使える施設になると良い。</p>
19	<p>これから、この地域で子育てをする方の意見を聞くことができて良かった。</p> <p>個人的には、ホールにこだわりがあり、色々な集会施設がある中でホールは浜田山会館の個性なので残して欲しい。</p> <p>中身の充実や気楽に来ることができる、人々が戻って来れる居場所になると良い。</p>